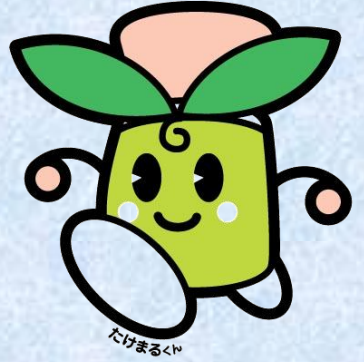


平成30年12月9日  
近畿都市学会秋季大会



# 自治体3.0を目指す 生駒市のまちづくり

こむらさき      まさし  
生駒市長      小紫      雅史



**喫煙後すぐの  
エレベーター利用は  
ご遠慮ください**



喫煙後呼気による受動喫煙を防ぐため、  
喫煙後45分間はエレベーターの利用をご遠慮ください。



# 自己紹介



# 1997年 環境省 入省

- ・ハイブリッド自動車の税制優遇
- ・環境自主協定（レジ袋、食品残さ削減）



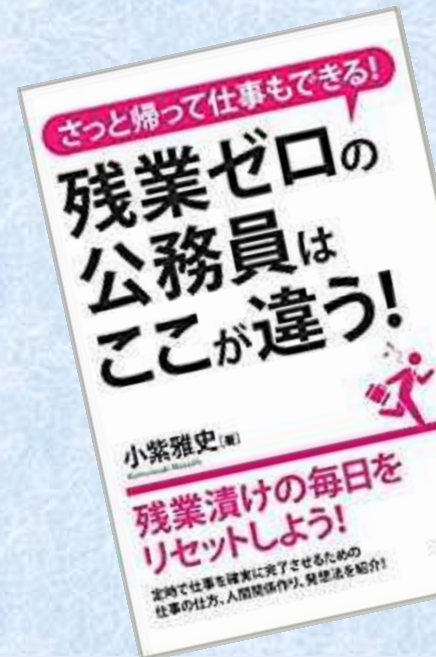
- ・霞が関を変える若手の会  
（NPO法人プロジェクトK）



# 副市長の**全国公募**に応じ 国家公務員を退職して生駒市へ

2011年8月 副市長

2015年4月 市長



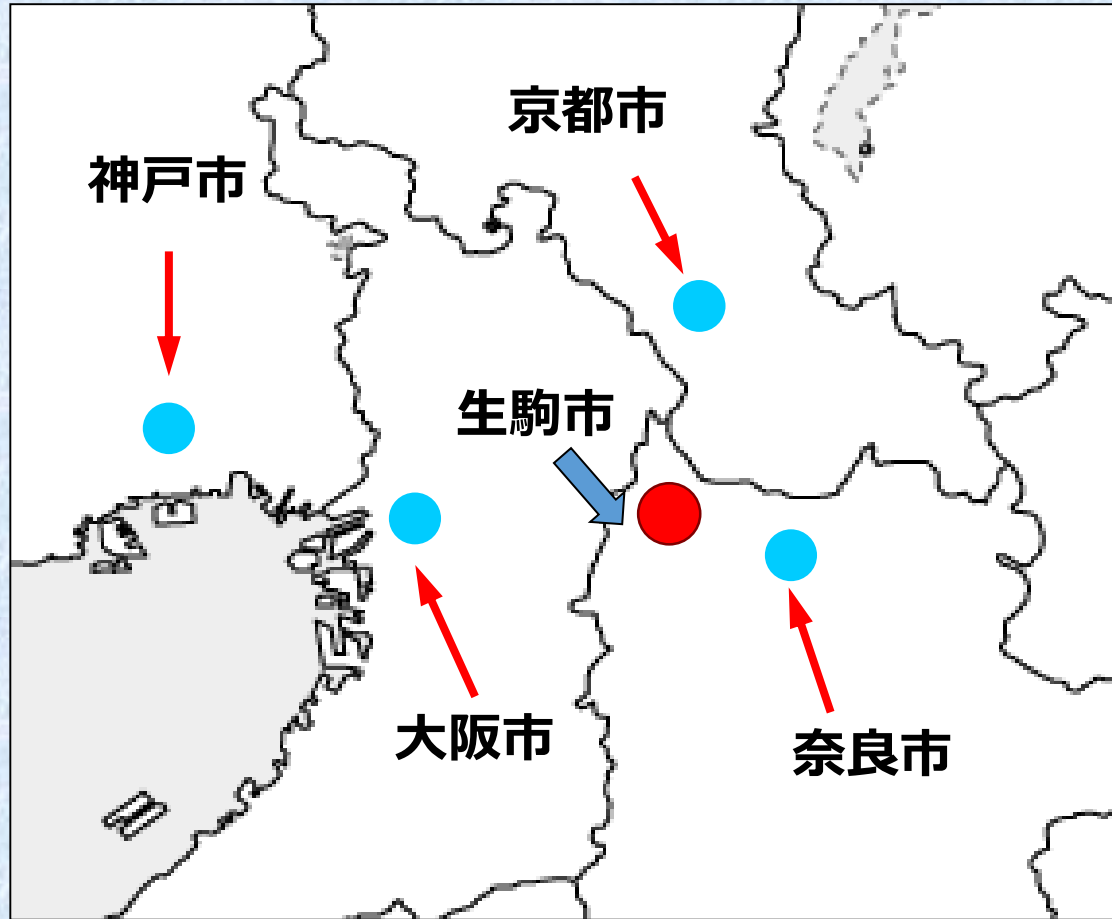
# 今日お話ししたいこと

- I 生駒市とその課題**
- II 生駒市のまちづくりの基本方針**
- III 自治体3.0の取組事例**
- IV 自治体3.0を実現する生駒市の人づくり**



# I 生駒市とその課題

# 近畿の中心、けいはんな地域



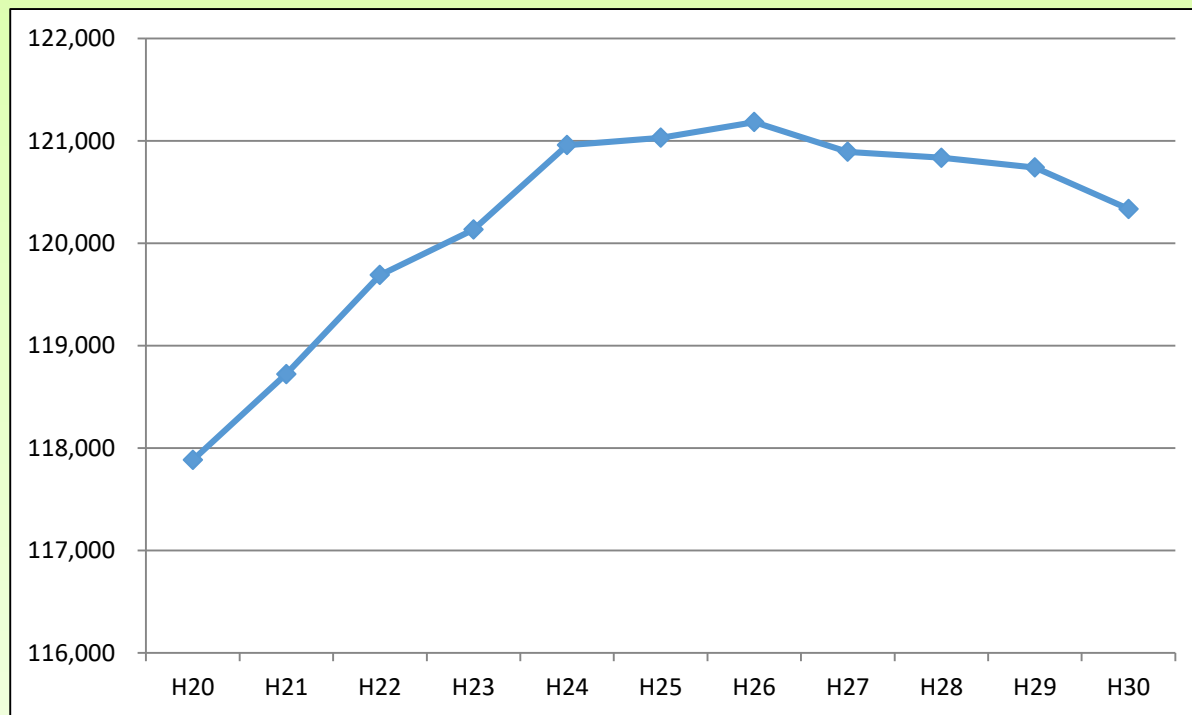


- ◆人口 120,118人  
市制施行47年で人口約3.2倍
- ◆面積 53.15 Km<sup>2</sup>
- ◆大阪都心部まで電車で約20分
- ◆県外就業率 全国2位
- ◆小中学生の学力 全国トップレベル
- ◆治安の良さ 関西1位



# 課題① (人口増加の鈍化)

## ＜生駒市の人口の推移＞



平成26年  
121,185人



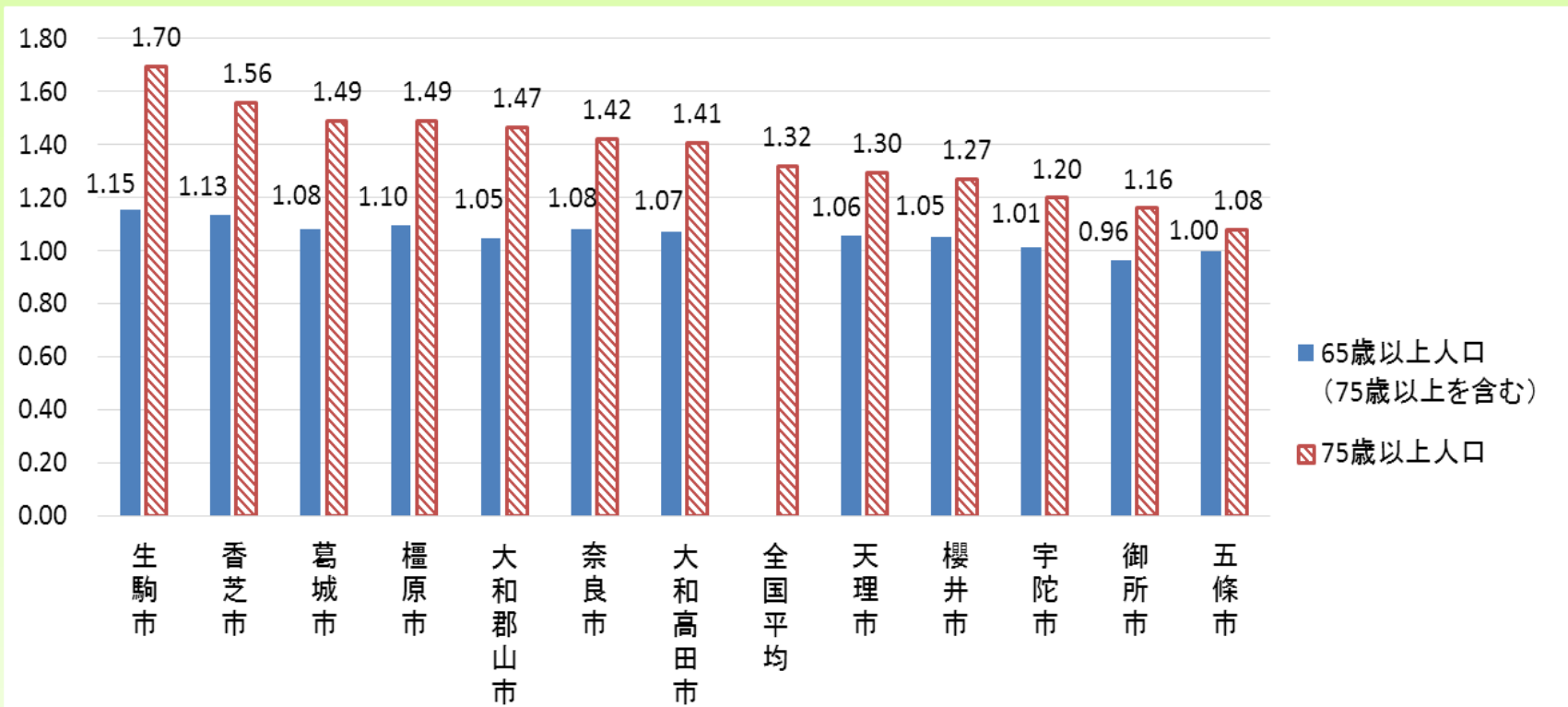
平成30年  
120,118人

→ 27年から、**微減**の傾向



# 課題② (高齡化の急速な進展)

県内12市における75歳以上人口の伸び率の比較  
(2015年から2025年にかけて)



生駒市の高齡化のスピードは、**全国トップ5%**



# 課題③ (地域消費の低さ)

住宅都市として成長してきた生駒は、

**産業・観光**の振興施策が不十分

都道府県別「他の都道府県」での購入割合(二人以上の世帯)

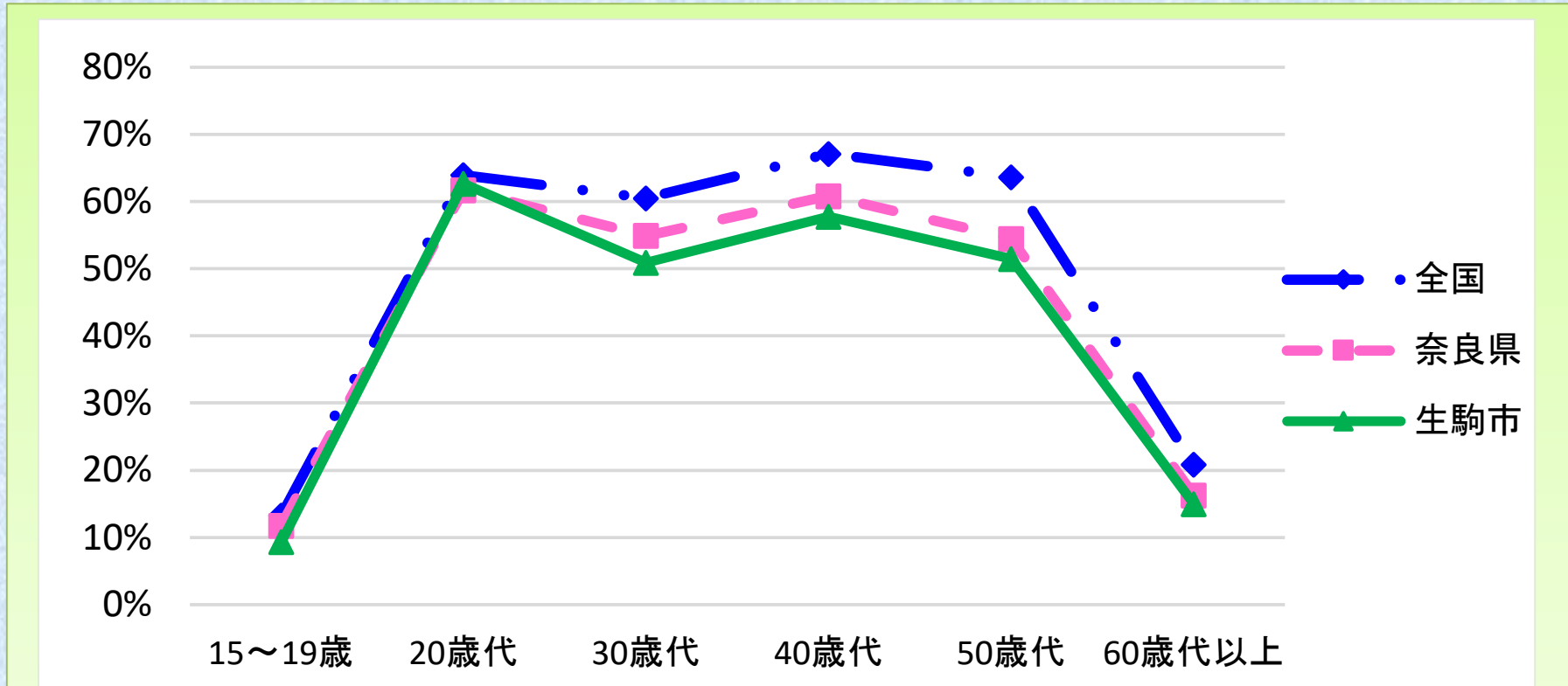
順位	都道府県	他県での購入割合(%)	地域差※
1	奈良県	15.2	172.7
2	岐阜県	13.7	155.7
3	埼玉県	13.6	154.5
4	佐賀県	12.8	145.5
5	神奈川県	12.5	142
6	三重県	12.0	136.4
7	滋賀県	11.6	131.8
8	千葉県	11.5	130.7
9	東京都	10.7	121.6
9	京都府	10.7	121.6

※全国平均(8.8%)=100として換算

生駒市の地域消費率は、**全国最低レベル**



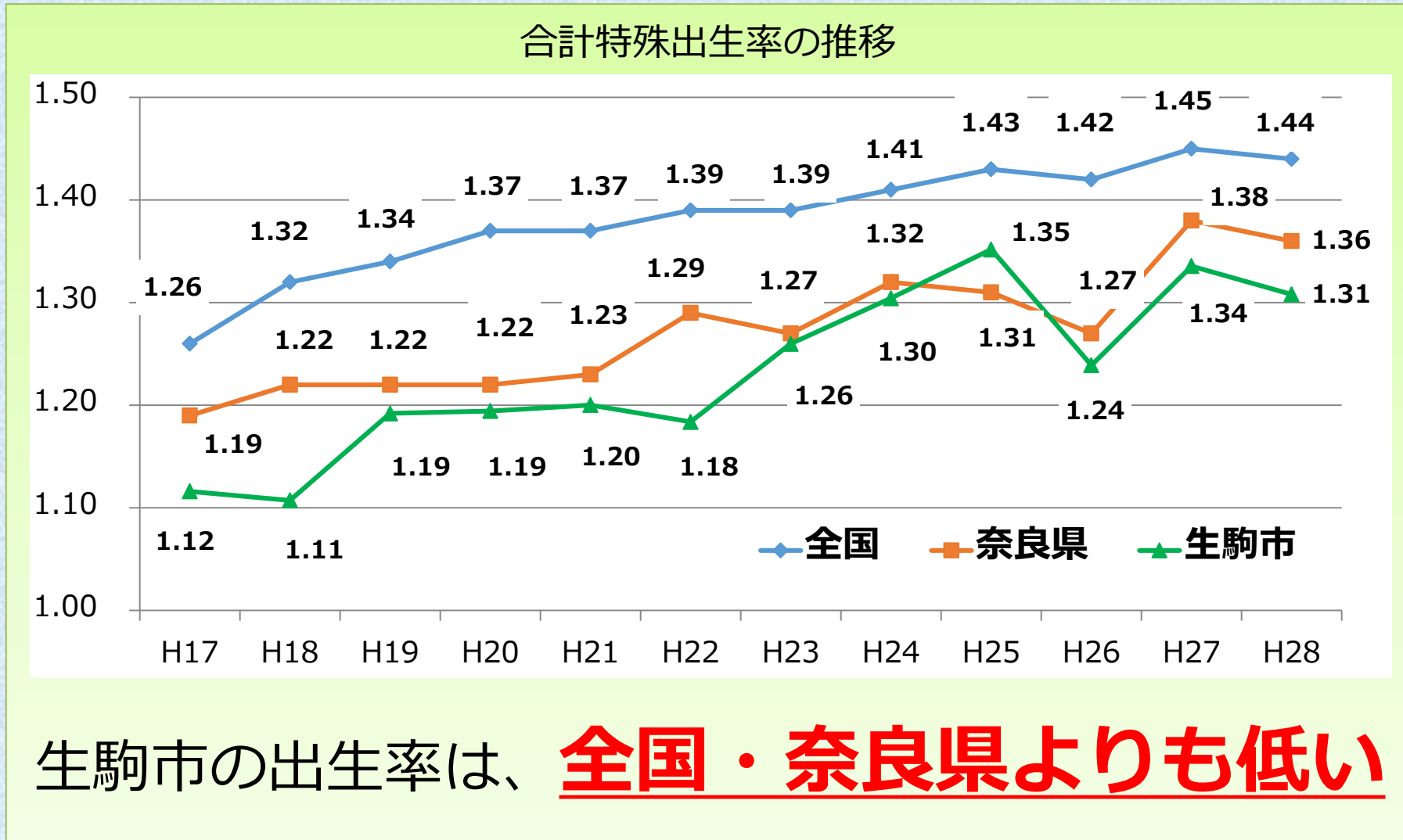
# 課題④ (女性就業率の低さ)



生駒市の女性の就業率は、**全国最低レベル**



# 課題⑤ (出生率の低さ)



# Ⅱ 生駒市の まちづくりの基本方針



# 自治体3.0のまちづくり

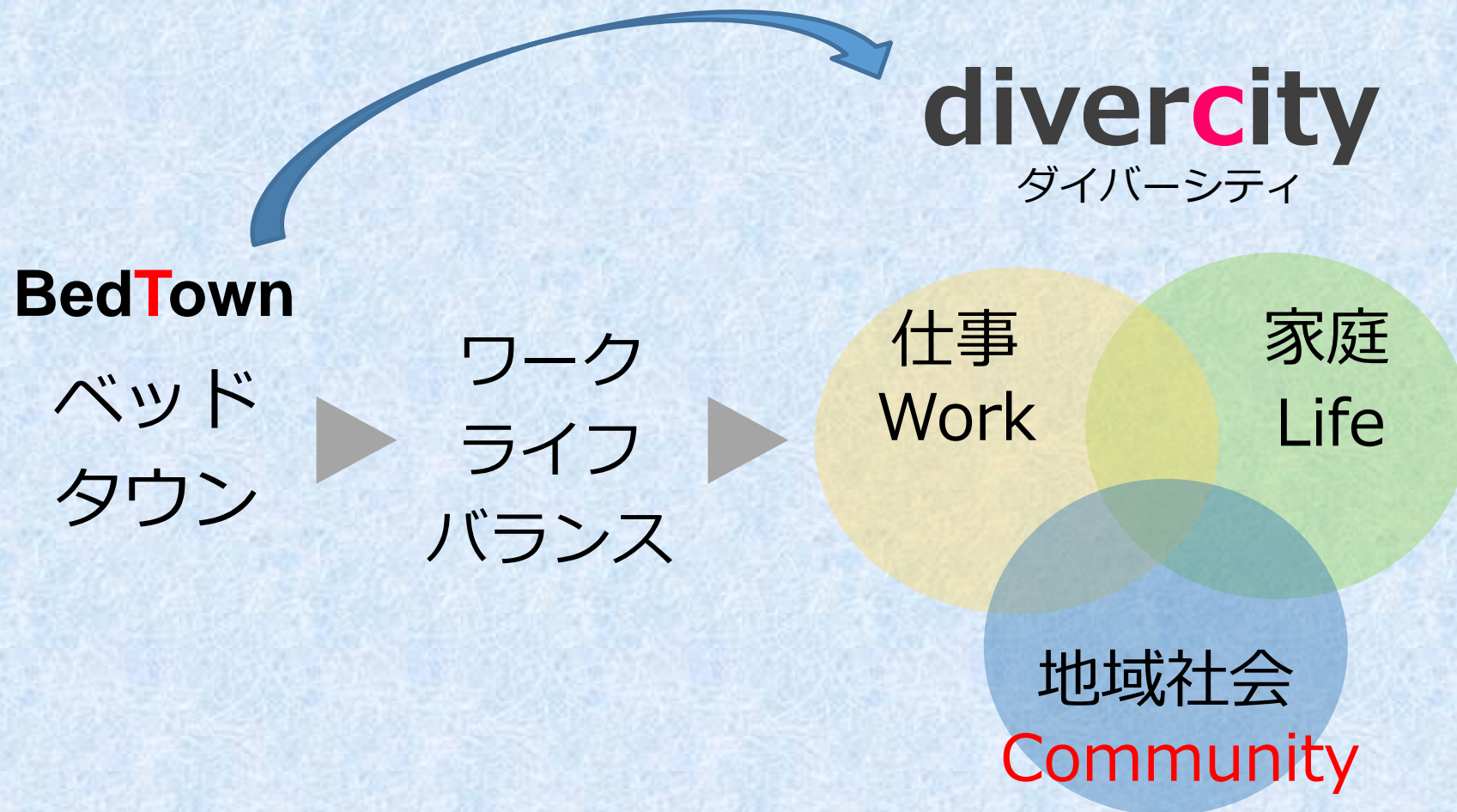
	自治体2.0	自治体3.0
市民との関係	市民 = お客様	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民と共に汗をかく</li> <li>・ <b>協創</b></li> </ul>
基本目的	差別化	価値創造
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズに応えるのが行政</li> <li>・ 民間企業に負けない！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちを楽しむ！</li> <li>・ みんなの課題はみんな なで解決！</li> </ul>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外の人を呼び込む！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内在住者の満足度 ↑</li> <li>・ (結果として) 人口流入、増加</li> </ul>

⇒ 汗をかいてもらったほうが **市民満足度・定住希望率 ↑**





# ワーク・ライフ・**コミュニティ** の融合



➡ 生駒市の定住意向率：**84.7%** (全国平均64.7%)



# Ⅲ 自治体3.0の取組事例



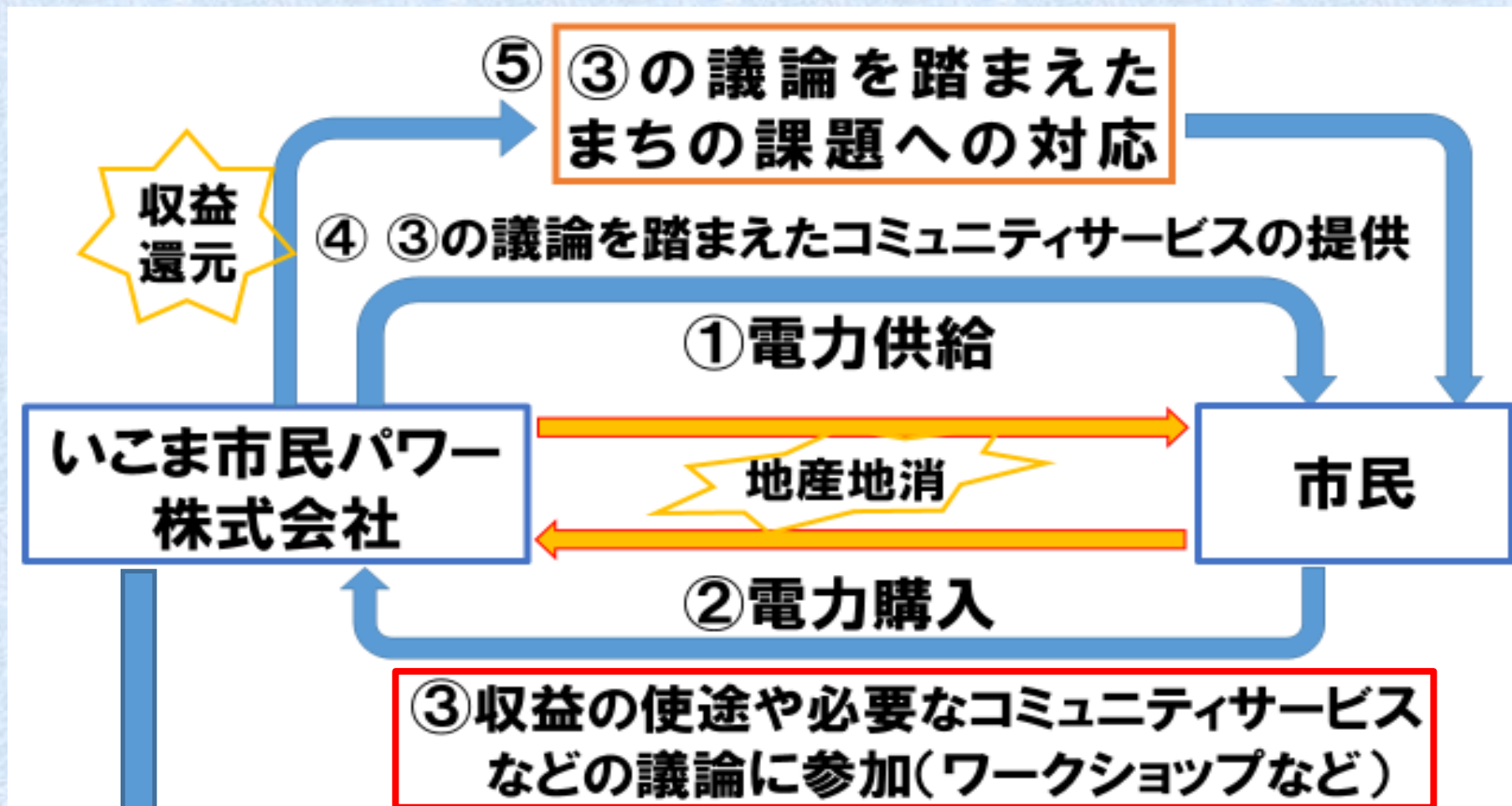
# 1. いこま市民パワー株式会社(平成29年7月設立)



第10回協働まちづくり表彰 準グランプリ



# <事業の全体像>



ICTを活用した地域サービス事業（見守り、地域消費拡大等）  
EMS事業なども実施



# いこま市民パワー ～いこまの市民力のモデル～

## 全額市民出資による太陽光発電事業を運営

- シルバー人材の活躍
- 大半の出資が生駒市民
- あえて小口で
- 収益の地域還元
- 環境教育事業への協力



『まちの魅力向上と課題解決に、  
環境・エネルギーを切り口に取組む』



# <いこま市民パワーが生駒の課題に対応！>

## 1.高齢化・女性就業率の低さ

⇒収益を子育て、高齢者施策に充てる

⇒シルバー人材・地元の専業主婦の活躍

## 2.地域消費の低さ（産業構造の弱さ）

⇒いこま市民パワーが『稼ぐ自治体』の象徴

⇒地元雇用の創出、エネルギーコストの流出阻止



## 2. 日本一の高齢者福祉の街「いこま」

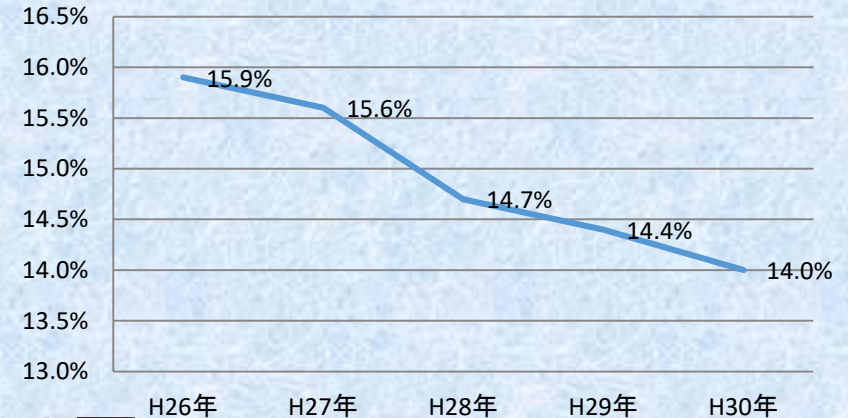
後期高齢者の伸び率が全国トップ5%！です、が...

(12176人(H26) → 13553人(H28))

介護認定率

- 介護認定率

4年で**1.9%低減!**



- 介護コストの削減

平成26年度決算額 422,305,303円

平成27年度決算額 385,803,843円

平成28年度決算額 371,747,093円

※H27の報酬改定額による影響もあります。

- 介護保険料の基準額 5,200円/月

(奈良県12市中3番目に低い)



# 地域包括ケアシステム先進都市「いこま」 2つの理由

① 一旦虚弱になった人でも

**「本気で、健康に戻す」**

オーダーメイドのメニューづくりと実践



② 元気になった高齢者を

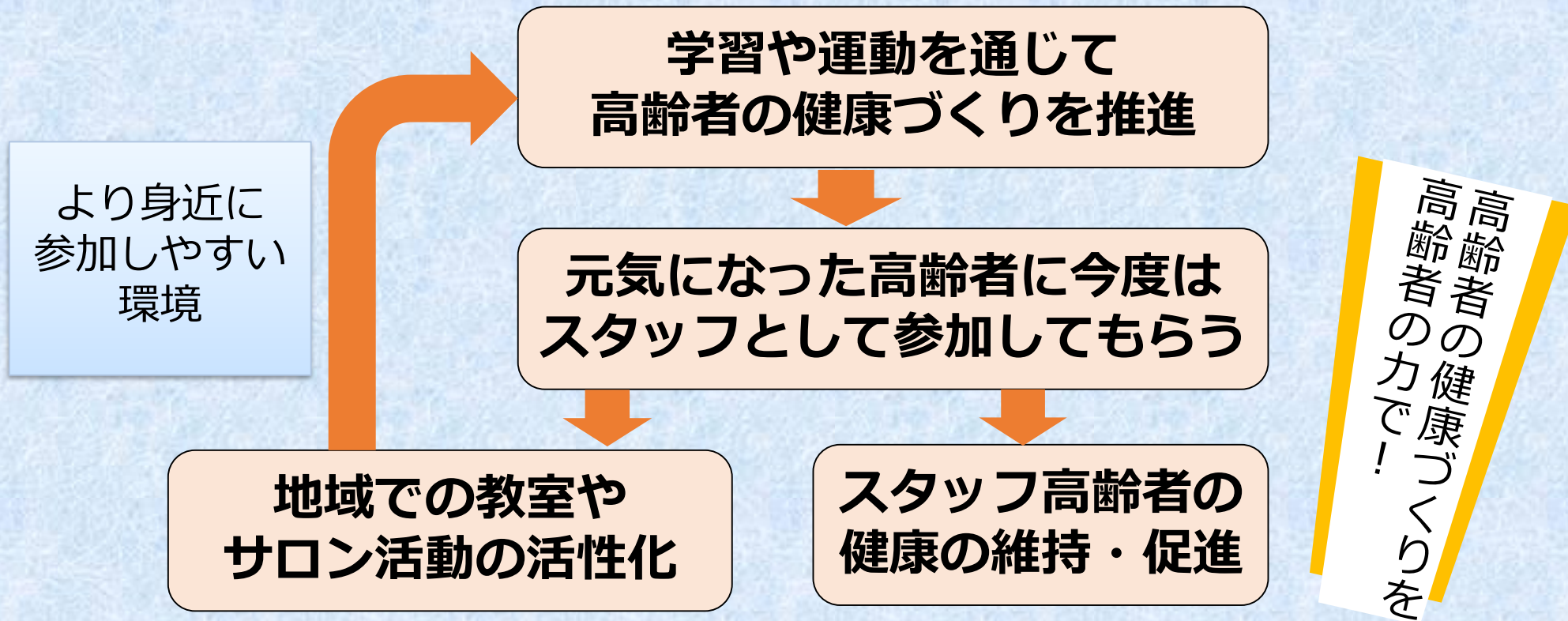
次のボランティアとして活用する

**「本気の支え合いシステム」**





# 生駒市が実現している理想的な人材マネジメント



**高齢者同士が支え・支えられる、好循環を行政が応援！**



# 3. みんなで創る音楽祭

## 市民がコンサートの企画・調整、当日の運営

- ①参加者数の増加
- ②ジャンルの多様化 → 満足度の向上

- ・クラシック
- ・ジャズ
- ・子ども向け

- ③市内のアーティストが参加

→ まちづくりに目を向けてもらえる



## 4. プラレールひろば

家で使わなくなったプラレールを集め、駅前広場で大きな線路をつくって遊ぶ事業

- ・ 予算ゼロ
- ・ おもちゃのリユース
- ・ 父親の育児参加

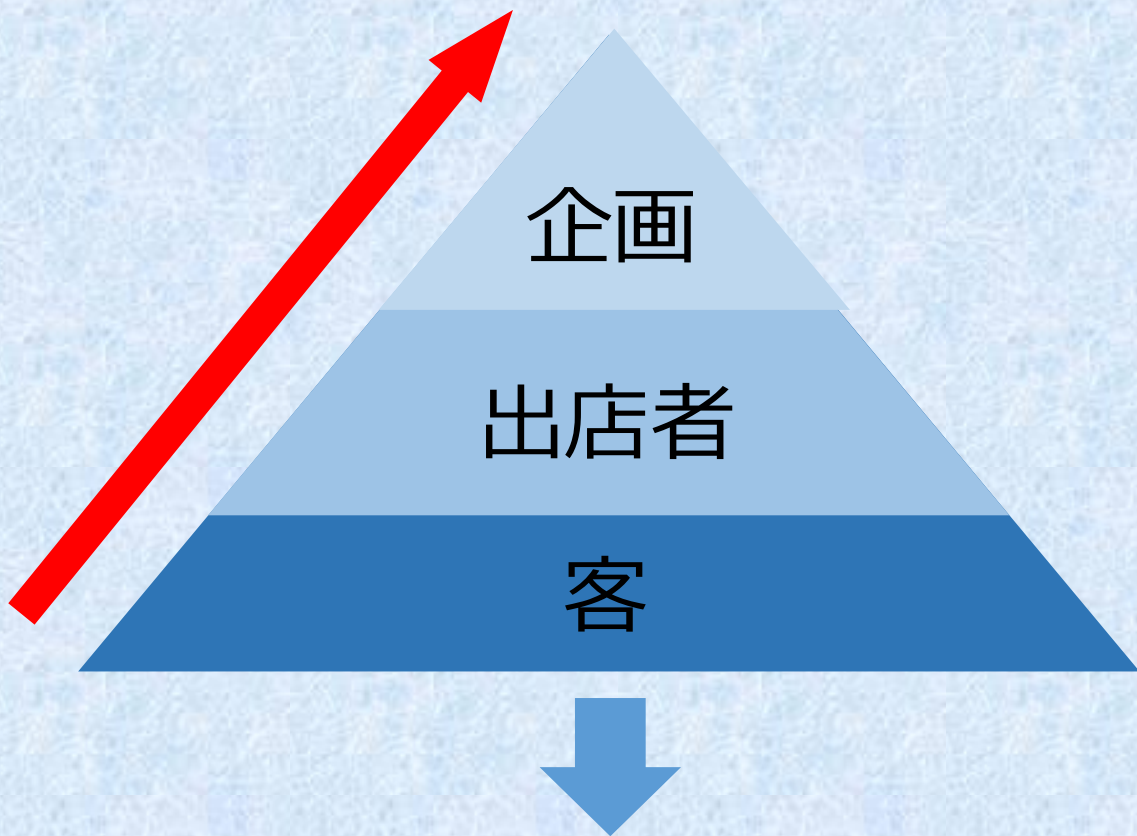


### 市民団体との協働

- 育児ネットワーク
  - ・ おもちゃ病院
  - ・ 積み木広場
  - ・ 読み聞かせ etc



# 5. いこママまるしえ



- ・ 市民が企画・運営だけでなく、**まちづくり人材の育成**まで行う
- ・ 趣味から**ビジネス**に



# IV 自治体3.0を実現する 生駒市の人づくり



ikoma\_first  
こんにちは赤ちゃん訪問事業



❤ いいね! 5,100,000件

ikoma\_first 発達状態と育児環境をチェックする先輩。超尊敬。  
#全力でコミュニケーション #次はわたしの番 #彼氏には見せられない

AI can't do, but I can.

平成31年4月1日採用予定 SPI3で受験可能  
生駒市職員採用試験  
<申込受付期間>  
平成30年4月1日(日)~4月11日(水) 23:59

採用説明会  
平成30年3月17日(土) 13:00~17:00  
場所 たけまるホール(近鉄生駒駅から徒歩3分)

採用情報は  
こちら



ikoma\_amore  
脳の若返り教室



❤ いいね! 4,104,510件

ikoma\_amore 今日は認知症予防の教室。先輩の人気まじやパイ。  
#サポーター数関西一 #おこぼれちょーだい #これ引き継げるんか

AI can't do, but I can.

平成31年4月1日採用予定 SPI3で受験可能  
生駒市職員採用試験  
<申込受付期間>  
平成30年4月1日(日)~4月11日(水) 23:59

採用説明会  
平成30年3月17日(土) 13:00~17:00  
場所 たけまるホール(近鉄生駒駅から徒歩3分)

採用情報は  
こちら

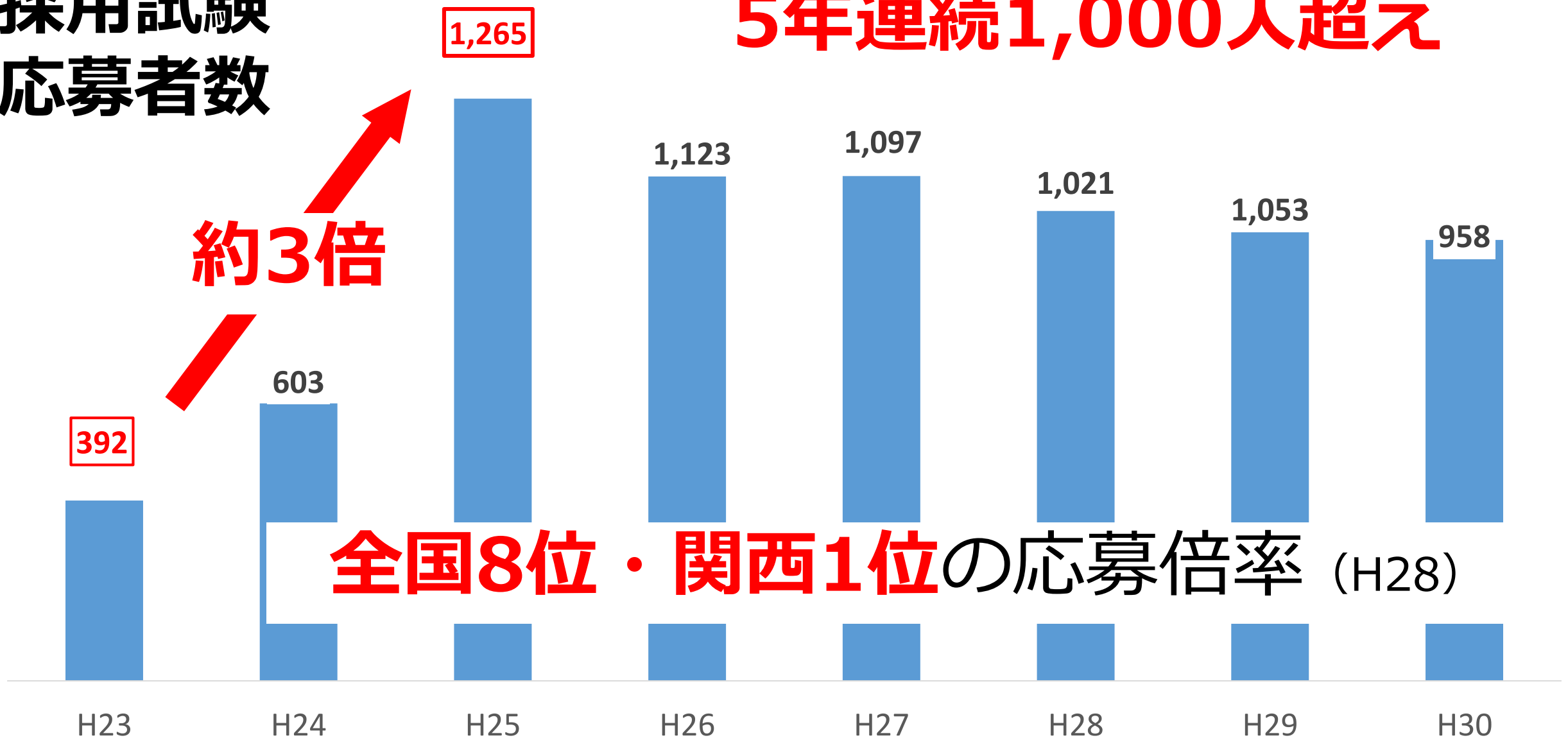


# 採用試験 応募者数

5年連続1,000人超え

約3倍

全国8位・関西1位の応募倍率 (H28)



# 時間外勤務の削減

＜「時間外勤務命令の運用に関する指針」の策定＞

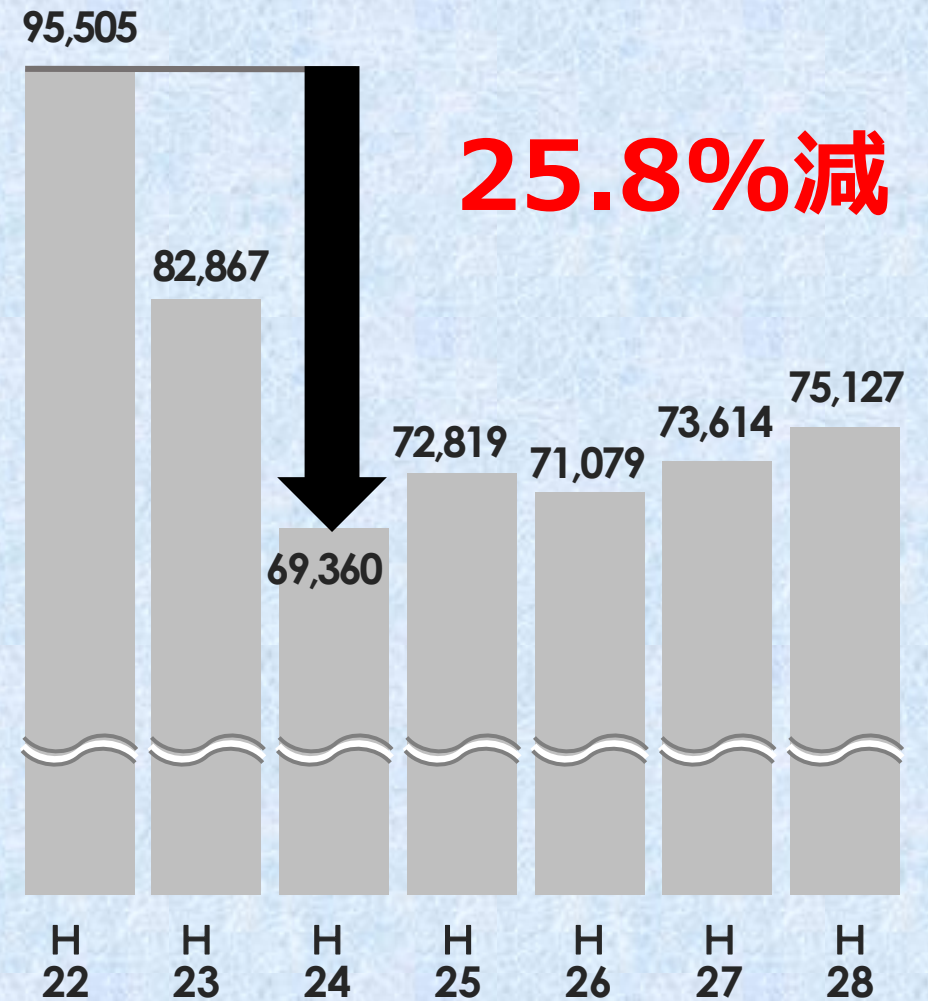
- 各部ごとに市長が残業目標を設定
- 時間外勤務時間の削減目標を人事評価項目に義務付け
- 各部長の人事配置の裁量を拡大
- 時間外勤務の事前申請の徹底
- 週休日勤務を原則廃止（代休対応）
- 「プレミアムノー残業デー」



時間外勤務を

約 **25,000** 時間減

時間外勤務時間の推移





# 社会の変化と公務員の役割①

- 人口減少・少子高齢化・財政の悪化・職員数減
- 市民ニーズの多様化、専門化
- 地方創生
- ITやAIの発展
- 新興国などの影響



国の方針に基づいた対応だけでは  
自治体は**衰退・消滅**



# 社会の変化と公務員の役割②

- 「新しい公共」の活性化
- リタイア層・主婦層の地域デビュー
- 現役世代のサードプレイス
- 学生等による実学志向（インターン・地域活動）
- CSRからCSV経営へ



汗をかいてくれる  
市民や事業者の増加



# 自治体3.0時代に求められる公務員像

## 「始動」力

(0→1を生み出すリーダーシップ)

## 「協創」力

(「チーム○○」を築く力)



# 地域に飛び出す公務員を増やす！



公務員が率先して  
ワーク・ライフ・コミュニティ  
の融合を！



# 副業（地域貢献活動）の促進

地域貢献やまちづくり活動で報酬を得ることも可能

- 地域貢献活動であり、報酬を伴うもの（市内・市外は問わない）
- 採用2年目からの職員が対象
- 許可基準
  - 勤務時間外、週休日における活動であること
  - 生駒市との間に特別な利害関係がなく、職務の公正の確保を損わないこと。
  - 営利を主目的とした活動、宗教的活動、政治的活動、法令に反する活動でないこと
  - 報酬は、地域貢献活動として許容できる範囲



自治体3.0の実現には

**市民力 = 地域愛 + 行動力**

が不可欠！

市民・事業者・行政が

**ともに汗をかき**

まちを目指す！

